



教育目標：自ら学ぶ意欲にあふれ、共に高め合い、心豊かで未来を切り拓く子どもの育成

新型コロナウイルス感染症の大阪府のステージは、10月25日からグリーンのステージとなりました。守口市教育委員会からの通知を受け、実技を伴う活動については、十分な換気、子ども同士の間隔を十分に確保するなど留意するなどして実施していきます。

また、長休時等の休み時間は分散していましたが、11月より全員外で遊ぶことを可能としました。しっかり体を動かして、楽しく過ごしてほしいです。



## 5年：バケツ稲の稲刈り体験

10月15日にバケツで育てていた稲の刈りとりを行いました。おいしいお米ができているかな？



## 5年：家庭科の実習

10月29日、家庭科室で初めての实習をしました。お茶をいれました。「苦い」や「思ったよりおいしい」と感想を言っていました。



## ◎合同授業研究会と合同人権教育研修会◎

第一中学校と八雲東小学校と守口小学校の教職員が一同に集まって、研修会を実施しています。

10月21日（木）に守口小学校において、合同授業研究会を行いました。3校の教職員が集まり、3年生の3クラスの国語の授業を見ました。密集を避けるため、一部はZoomによる配信となりました。終わった後は、討議会です。一中校区には、「一中校区学習スタンダード」があります。討議の内容は、スタンダードの中にある「話している人の方に体を向けて聞く」「声の大きさに気を付けて話す」と本校の研究テーマの「考えを伝えたい仕掛けづくり」についてです。各クラスでグループに分かれて、意見交流を行いました。最後は、体育館に全員集まり、関西大学初等部の西先生をお招きして、お話をいただきました。



国語の授業の様子



廊下から見ています



グループに分かれて討議会

10月27日（水）は、第一中学校の体育館で合同人権教育研修会を行いました。講師に大久保晚さんをお招きして、「安心できる学校づくりとは ～性の多様性を知る～」のテーマでご講演をいただきました。自分らしく生きること、一人ひとりの個性を大切にすることが大事であることを改めて考えることができました。

## ◎支援学校との居住地校交流会◎

10月14日(木)に光陽支援学校に通っている児童と3年1組の交流会を行いました。初めに、出前授業で光陽支援学校の先生から、支援学校の紹介や授業の様子、町の中のバリアフリーについて教えていただきました。パラリンピックでも行われていた「ボッチャ」のことも教えていただきました。2時間目にはZoomで支援学校とつながり、交流しました。王様じゃんけんをして、勝った人が質問をしました。最後は、「にじ」の歌を手話付きで歌いました。

出前授業



ボッチャ



手話で歌っています



10月28日(木)は、守口支援学校に通っている4年生の児童とひまわり学級との交流会を行いました。ハロウィンパペットを一緒に作りました。そのあと、運動場で一緒に遊びました。

パペットを作りました



1年：あきさがし 10月21日(木)

淀川河川敷に行きました。色とりどりの葉っぱがたくさんありました。

堤防には、バッタがたくさんいました。



3年：文禄堤と消防署 10月29日(金)

文禄堤を歩き、昔の様子を見学しました。消防署へ行って、消防車のことや、地震の備えについて教えていただきました。



6年：原爆と戦争展 10月18日(月)

中部エリアコミュニティセンターで展示を見学して、戦争体験者のDVDを視聴しました。

午後から、2名の戦争体験者のお話を6年生は体育館で、4年生と5年生は教室からZoomで聞かせていただきました。

6年生は、修学旅行に向けて、平和について学習しています。

